

<b>留 学 報 告 書</b>
------------------

記入日:2020年2月16日

所属学部／研究科・学科／専攻	経営学部経営学科
留学先国	米国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: スタンフォード大学 現地言語: Stanford University
留学期間	2019年6月～2019年8月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	学年の指定なし 年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2020年12月22日
明治大学卒業予定年	2021年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:                    2学期:                    3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	7,000
創立年	1891

留学費用項目	現地通貨 (米ドル)	円	備考
授業料	17,619.00	円	
宿舍費	2,470.00	円	
食費	1,563.00	円	週14回
図書費	0	円	
学用品費	500.00	円	
教養娯楽費	300.00	円	
被服費	0	円	
医療費	224.00	円	
保険費	1,398.00	円	形態:
渡航旅費	1,000	円	
雑費	2,000	円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
<b>合計</b>	<b>27,617.00</b>	<b>3,000,000円</b>	

## 渡航関連

**渡航経路:**羽田→サンフランシスコ国際空港

渡航費用

チケットの種類 \_\_\_\_\_  
 往路 \_\_\_\_\_  
 復路 \_\_\_\_\_  
 合計 \_\_\_\_\_

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

事務室に手配していただいたため詳細不明

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

寮

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 \_\_\_\_\_ )

3)住居を探した方法:

スタンフォード側が住居を指定します。

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

一応個室の体を成していますが、平時はドアを解放しておくというポリシーがあるので近くの仲間と交流を持つ機会が多々あります。

## 現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった  
利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

何でも相談できる総合窓口がキャンパス内にありました。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

近くで事件が起こったときにはメールによって周知されます。ルームメイトが自転車の盗難にあいかけたので、基本ですがしっかり鍵をかけることが重要です。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

私の部屋は Wi-fi ルーターが近かったので、非常に快適でしたが、部屋によっては通信状態が悪いところもあるそうです。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本のクレジットカードを利用しました。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

フリーズドライの味噌汁なんかはあるといいと思います。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

TU 奨学金

## 卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
One career, 外資就活
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
投資銀行等
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
説明会やインターンに参加できないという点で日本の学生より情報面での不利は避けられません。また留学期間、時期によって一様にアドバイスできませんが、欧米に留学したならポスカリやロンキャリア等を利用して、むしろ日本の学生より有利に就活をすすめられるということもあります。要は心がけです。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
3 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 2 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Decision Making	意思決定
科目設置学部・研究科	
履修期間	2019/6 ~ 2019/8
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 80 分が 2 回
担当教授	Burke Robinson
授業内容	確率の概念を利用して意思決定をする
試験・課題など	中間試験が三回、期末試験、期末レポート
感想を自由記入	面白かったです。期待値などを利用して、企業の投資判断を行います。

<b>履修した授業科目名(留学先大学言語):</b>		<b>履修した授業科目名(日本語):</b>	
Accounting for Managers and Entrepreneurs		マネージャーと起業家のための会計	
<b>科目設置学部・研究科</b>			
<b>履修期間</b>	2019/6 ~ 2019/8		
<b>単位数</b>	4		
<b>本学での単位認定状況</b>	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
<b>授業形態</b>	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
<b>授業時間数</b>	1週間に 80 分が 2 回		
<b>担当教授</b>	John Lord		
<b>授業内容</b>	基本は簿記		
<b>試験・課題など</b>	中間試験と期末試験		
<b>感想を自由記入</b>	基本は簿記の仕付けなどの作業です。ときおり会計事務所のパートナーがによるプレゼンや、スタートアップにとってのアカウンティングなど、スタンフォードの特色があらわれるものでした。		

<b>履修した授業科目名(留学先大学言語):</b>		<b>履修した授業科目名(日本語):</b>	
Principles of Economics		経済原論	
<b>科目設置学部・研究科</b>			
<b>履修期間</b>	2019/6 ~ 2019/8		
<b>単位数</b>	5		
<b>本学での単位認定状況</b>	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
<b>授業形態</b>	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
<b>授業時間数</b>	1週間に 80 分が 2 回		
<b>担当教授</b>	Robert Leeson		
<b>授業内容</b>	ミクロ経済学マクロ経済学		
<b>試験・課題など</b>	5 回のレポート、中間試験、期末レポート		
<b>感想を自由記入</b>	短期間に学部一年生レベルの経済学全般をさらうため、宿題の量が尋常じゃありません。		

留学に関するタイムチャート
---------------

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2017年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	
2018年 1月～3月	
4月～7月	TOEFL 対策開始
8月～9月	
10月～12月	
2019年 1月～3月	必要スコアを獲得 出願
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	<p>大きな理由は二点あります。一点目は競争的な環境に身を置くことで、自己を成長させたかったからです。大学受験の経験から、自己に負荷がかかることにより、知識のみならず精神面が大きく背負うということを学びました。従って、かかる大学群は、その学生たちの優秀さにおいて秀でているという事実そのものを魅力的に感じました。</p> <p>二点目は米国の多様性を肌で実感したかったからです。企業にとって多様性の持つ力というものは凄まじいものです。そうした力を米国企業は利用し、それが世界最大の経済大国の一つの支柱になっているのではないかと考えました</p>
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	<p>英会話の練習をしておけばよかったかなと思います。特段流ちょうに英語を話す必要はありませんが、ソーシャライジングというのは大学生を送るうえで不可欠です。ある程度スムーズに会話がこなせた方が、より多くの人と、より深くかかわることができることにつながります。また日々の国際ニュースをチェックするといいでしょ。共通文化を持たない相手にはなにがしかの共通点を作ることがえてして重要であると考えます。</p>
この留学先を選んだ理由	<p>米国有数の名門大学であるため、質の高い授業があると予想しました。また、明治大学と協定があるためハーバード大学と比べて出願プロセスが容易であるため、出願のハードルが低いことも重要です。さらに、トップユニバーシティ奨学金でカバーされており、金銭的負担は、現地での雑費やホテルの宿泊費程度で抑えられます。加えて、西海岸は気候が温暖であり、キャンパスは自然であふれているため、快適な環境で学習が進められると考えました。</p>
大学・学生の雰囲気	<p>非常に国際色あふれています。サマーのプログラムであるため、世界中から留学生が集まっています。また、オンオフがしっかり切り替えられる学生が多いという印象です。テスト期間はキャンパス侍従の勉強スペースが埋まり、オンキャンパスでの数多くのイベントはいつも盛況でした。とりわけ授業中の学生たちの熱意には胸を撃たれました。授業の内容だけでなく、一つ深い教授の洞察や知識を得られる絶好の機会を、正に生徒が作り出していたのです。授業のクオリティの半分は学生の熱意が作用しているといっても過言ではない、そんな印象を抱きました。</p>
寮の雰囲気	<p>三階建ての寮です。特に理由のない場合は、常にドアを解放しておくというポリシーがあり、非常に開放的な雰囲気があります。毎週寮ごとのトリップが企画されているため、寮のメンバーとの交流を持つ機会は多いです。近所のビーチ、シリコンバレー、水族館、遊園地、野球スタジアムなど、自分の興味に合う催し物が見つかると思います。また、自主的なものを含み、民族料理なんかをふるまう機会もあります。かように、学生間の交流を図る機会は豊富にあります。</p>
交友関係	<p>ルームメイトのパキスタン人と、オリエンテーションで知り合った韓国人中国人、また同じように日本から来た留学生たちと交友を深めていました。ジムに行ったり、カフェでコーヒーを飲んだり、あまり日本での交友の深め方とさして変わらないように感じました。また近所のスーパーでお酒を買ってきて、部屋が近い仲間たちと軽いパーティーを開いたりしました。国際情勢や社会問題、恋バナに至るまで、様々な会話を通じて、育ってきた背景的文化的諸影響に加え、それを捨象した個性を体感でき愉快なものでした。</p>
困ったこと、大変だったこと	<p>私はとりわけ食事が好みではありませんでした。確かにハンバーガーやピザなんかは美味しいわけですが、過剰にそれらを摂取することは栄養面で不安が残ります。従ってサラダを中心に食べるわけですが、野菜が美味しくない。食堂ではシステム上、ピュッフェスタイルなわけで、そこから好きな分量取り分けるわけですが、野菜がどうもすべて乾いています。スープなどは時間によっては美味しくいただけますが、保温の温度設定が高いのか、夕食時に飲むと煮詰まりすぎています。</p>
学習内容・勉強について	<p>意思決定、会計、経済学を履修しました。意思決定の授業では確立を利用して投資の判断や、いかに人間のバイアスを取り除くかを学びました。会計の授業では、概念の背景にスタートアップが用いられるなど、スタンフォードならではのフォーカスを感じられました。経済学では、大恐慌を経済学的側面から理解するというストーリーが大枠であり、それを理解するためにマクロ・ミクロ経済学を学んでいく流れでした。講義でわからないところがあれば TA に直接聞きに行ったり、教授に気軽にメールできるため、充実した学習をすることができました。</p>

課題・試験について	授業によって課題の量はまちまちですが、休日はたいていの時間を課題の消化に努めるほどの量はありました。決してこれは課題の内容が難解であるということではなく、一つの課題に対して多面的な知識が必要であり、それらを一つの回答に落とし込むという点において、時間がかかるものでした。試験は持ち込みの可否によって難度が変化するという印象です。とりわけ経済学では、実際のアメリカのデータに対して、習った概念を用いて記述するという物でした。もちろん思考力が試される試験であることに疑いの余地はありませんが、やはり概念の暗記に立脚してのみそれらは役に立つが故、持ち込み負荷の試験は難しいものでした。
大学外の活動について	2 か月と短いプログラムですが、様々な機会があります。著名な活動家による講演や、起業家によるワークショップなど、時間に余裕があればいくらかでも学ぶことができる機会がそこにあります。先述の通り、学びだけでなくレジャーアクティビティも多数あるため、単位を取りすぎなければ、様々なイベントに参加することができます。
留学を志す人へ	子細なアドバイスはいくつもありますが、何より肝要なのは何故留学をしたいかということです。ここまでお読みになった読者諸氏には既知のことと存じますが、機会の豊富さを、自分が留学を通じてどのように成長したいかという思いがなければ、有効に活用することなどできません。もちろん、機会費用を恐れずに飛び込んでいくこともまた留学を充実たらしめる一要素であります。私もかような思いで参加しましたが、レジャーアクティビティに注力するのか、国際的交友を深めるのか、講義に注力するのか、それ以外の学びを最大化しようとするのか、そうしたフォーカスが曖昧であったため、最初にスタンフォードで何をしたいのかをしっかりと固めるとこうした機会を最大限活用できると思います。頑張ってください。

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	課題消化	授業	課題消化	授業	自由時間	課題消化	課題消化
	課題消化	授業	課題消化	授業	自由時間	課題消化	課題消化
午後	授業	課題消化	授業	課題消化	自由時間	課題消化	課題消化
	授業	課題消化	授業	課題消化	自由時間	課題消化	課題消化
夕刻	課題消化	授業	課題消化	授業	自由時間	ハングアウト	ハングアウト
夜	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	ハングアウト	日本を思い出し郷愁に駆られる